

白杵市 施策評価シート  
(令和4年度)

評価 担当者	課名 市民課	氏名 寺本 政浩	内線 1190
-----------	-----------	-------------	------------

コード	VII-21-51	施策名	交通安全対策の推進
施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える		
まちづくりの方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を図ります。正しい交通マナーを守れるよう交通安全教育や啓発活動に取り組み、安心して生活できる交通安全対策や環境整備を目指します。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回(春・夏・秋・冬)実施される交通安全運動及び毎月1日の「交通マナーアップの日」、20日の「県民交通安全日」による街頭啓発及び年間通しての広報・啓発活動に取り組みます。</li> <li>・高齢者を対象とした参加型交通安全教室の実施や警察、交通安全協会等と連携した交通安全講習などを実施します。</li> <li>・交通安全施設(カーブミラー)の整備や維持修繕管理を行います。</li> </ul>		

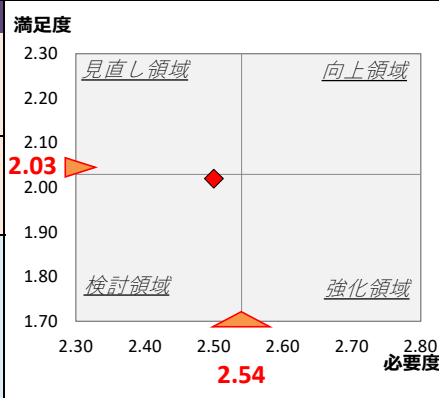
<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	市民1,000人あたり市内交通事故件数	人身事故件数(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	件	2	2	2	2	2
			実績		2.67	1.78	2.04	1.55	
			達成率	%	112.4%	98.0%	129.0%		
	市内で発生した交通事故の内、65歳以上の歩行者や運転者が関係する交通事故割合	人身事故割合(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	%	50	50	50	45	45
			実績		47	40	39	30	
			達成率	%	125.0%	128.2%	166.7%		
	運転免許証の自主返納支援制度申請件数(年間)	高齢及び病気等で運転免許証を返納した件数(年間)	目標	件	250	250	250	250	250
			実績		275	226	230	205	
			達成率	%	90.4%	92.0%	82.0%		
○	市及び交通安全関係団体が実施する交通安全講習などの市民参加率	参加者の割合(人口1,000人あたり)	目標	%	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0
			実績		2.0	2.5	2.4		
			達成率	%	40.0%	25.0%	24.0%		
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析	交通事故関連の指標は目標到達しています。内訳は、1月～12月の白杵管内における交通事故件数の内、人身事故件数は56件、白杵管内の高齢者が関係する事故件数は22件(30.55%)となっています。ただし、高齢者関係の事故は依然高い比率を占めています。また、交通安全の講習・講座は、白杵津久見警察署及び交通安全協会等の協力のもとで開催していますが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に到達できていません。来年度からは地区及び関係機関等との連携を図り、高齢者等の事故防止・抑止に繋がる交通安全講話等の実施及び効果的な啓発活動に取り組んでいくことが重要だと考えています。
-------	--

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R4調査)	検討領域	2.50	2.02
市民意識調査結果分析	<p>令和4年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>これまでの取り組みにより交通安全意識の醸成ができてきたことに加え、市の広報や啓発活動により、交通安全のマナーが浸透していることから、市民にとっての必要度が低下しているよう考えられます。また、満足度についても、講座・情報提供・街頭啓発などが主な取り組みのため、市民サービスとしての実感が乏しいのではないかと考えられます。</p>		



<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	交通事故防止等のための交通安全対策は、日頃からの継続した地道な啓発活動が効果的であると考えています。高齢者の関係する事故割合は他の年代より高いため、重大事故につながらないよう高齢者への効果的な啓発が必要と考えます。また「運転免許証自主返納支援制度」についても、事故の可能性を減らすためにも、警察署との連携を密に図り、市報やCATV・交通安全講座等を活用して周知を図っていくことが重要です。カーブミラー等安全施設についてはあくまでも補助的なもので、運転手自身の安全運転義務の遵守が重要であることも周知していきます。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み			
1	カーブミラー修繕事業	市民課		1,858	3,930	1,950	継続		VII-21-51
2	交通安全関係団体補助事業	市民課	○	2,430	2,338	2,430	継続		VII-21-51
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				4,288	6,268	4,380			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	本市においては、啓発の効果により、高齢者の事故件数は減少傾向ではありますが、高齢化率が高いことから、高齢者が関係する事故率は高い状況となっています。今後も引き続き高齢者を主とした交通安全教室・講座等の開催に向け、市内各地区(区長)及び老人クラブ等と接触を図っていくことが重要です。また、夜間歩行時の交通事故防止となる反射材の着用、運転免許証自主返納支援制度の周知、横断歩道でのマナーアップの推進等、交通事故防止に繋がる啓発も積極的に行い、「自分の命は自分で守る」という交通安全に対する意識の高揚を図っていくことが重要です。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

実施年度	令和4年度実施済	※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。	内部評価
			-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--